



令和5年3月1日 VOL.65

新座市ファミリー・サポート・センター
 新座市野火止1-1-1
 新座市役所 こども支援課内
 048-424-8277(直通)

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃、皆さまいかがお過ごしですか…3月は旧暦で「弥生(やよい)」ともいいます。弥(いや)は「いよいよ、ますます」、生(おい)は「生い茂る」を意味し、もともとは草木が芽吹くことを弥生(いやおい)といていたものが転じたそうです。木々のつぼみも次第に膨らみ寒さも和らいできましたが、季節の変わり目で体調を崩しやすい時季でもあります。健康に気をつけて元気に新年度を迎えましょう。

おしらせ&おねがい



★4月から中学生になるお子さんは自動的に登録抹消となります。



該当するお子さん(平成22(2010)年4月2日～平成23(2011)年4月1日生まれ)について、事前打ち合わせを行った利用会員・協力会員は、打ち合わせ時にお渡しした書類＝「事前打ち合わせ チェック項目及び確認内容」と「健康連絡票」をセンターに返却(郵送可)またはシュレッダー等の処理を施して破棄していただきますようお願いいたします。

また、登録されている最後のお子さんが登録抹消となる場合、利用会員は自動退会、両方会員は協力会員に種別変更となります。



★新年度を迎えるにあたり…



- * 小学校や保育施設等への入学・入園、または変更(転園等)がある場合
- * 援助内容の変更(習い事先の変更や曜日・時間の変更も含みます)や追加がある場合
- * 住所変更がある場合 …などは、必ずセンターにご連絡ください。



特に送迎の利用については、センターから各施設へ書類の提出が必要です。
 未提出の場合、お子さんの引き渡しができませんので、ご注意ください。



★食事提供については年齢による見直しが必要です。



4月時点の年齢での
見直しです



年齢	朝食	昼食	夕食
3歳未満	200円	200円	300円
3歳～就学前	300円	300円	400円
小学生	400円	400円	500円



協力・両方会員の皆さまへ

- ★ 『子どもの健康と事故防止』及び『幼児安全法』の講習は、国の実施要綱により少なくとも5年に1回の再受講が必要となっています。お忙しいところ恐縮ですが、前回の受講から5年を経過されている方は再受講をお願いします。一般の受講と同様にセンターにお電話でお申し込みください。
- ★ 『子どもの健康と事故防止』は、令和5年度より1時間の講習となります。
- ★ 受講履歴等が不明な方はセンターにお問合せください。

【令和5年度予定】（場所：市役所会議室）

講習内容	子どもの健康と事故防止 (各回 11:10~12:10)	幼児安全法 (各回 9:30~12:30)
5月	15日(月)	12日(金)
9月	8日(金)	12日(火)
R6.2月	9日(金)	7日(水)

【事業予定】

産後育児サポート講習会 9月21日(木)10:00~12:00 野火止1丁目集会所
茶話会 10月19日(木)10:00~12:00 市役所会議室

援助利用日について

確定した利用日は必ず利用会員からセンターにご連絡ください。毎月決まった曜日のご利用についても月ごとに連絡が必要です。万が一、ケガや事故が起きた場合、連絡のない援助は保険の適用にならない可能性もあります。安心して活動が行えるようご協力をお願いします。
ご連絡は、電話または電子申請・届出サービスをご利用ください。

電子申請・・・パソコン、スマートフォンから申請できます。(24時間対応)

Google等の検索欄に「デジタル市役所」と入力→デジタル市役所—新座市ホームページをクリック

- ① オンライン申請(電子申請)「新座市電子申請トップページはこちら」をクリック
- ② 検索キーワードに「ファミリー」と入力→「絞り込みで検索する」をクリック
- ③ 新座市ファミリー・サポート・センター利用日連絡票をクリック
- ④ 必要事項を入力し、案内に従って申請(メールアドレスの入力が必要です。)

活動報告書について

活動報告書(センター提出用)は活動月の翌月5日までに、協力会員からセンターに提出していただきます。報告書の提出が遅れる場合は、センターへご一報くださいますようお願いいたします。
また、協力会員の負担軽減のため、利用会員はできるだけ速やかな報酬のやりとりにご協力をお願いします。(月末までに支払いを済ませていただければ幸いです。)

*提出方法

活動報告書の提出方法は、市役所窓口へ持参、最寄りの出張所へ提出、郵送のいずれかになります。

- ・出張所へ提出の場合は、お手持ちの封筒に「ファミリー・サポート・センター宛」と「差出人氏名」を記載し、必ず封をしてください。
- ・郵送の場合は、切手をご負担いただくことになりますことをご了承ください。



講習会のご報告

令和5年2月(1日・2日・7日・8日・9日)

於:市役所会議室304

新規協力・両方会員登録のための講習会(年3回実施)の2月日程が終了しました。

- *各講習・・・【援助活動について】【子どもの健康と事故防止】【幼児安全法】【子どもの栄養と食生活】【保育の心】において、大変熱心に受講される皆さまの姿がとても頼もしく有難く感じました。
- *今回受講の皆さまは、「子育ての経験を活かして何かしたい」「自分が近所の人に助けてもらえたから」「孫の面倒のつもりで」「子育て中に保育士資格を取ったので」・・・など、いろいろな思いや考えをもってお申込みいただいたようです。ご参加くださった皆さまにとって、講習会が良い出会いの場となり今後のご活躍に繋がれば幸いです。
- *センターも引き続き一つひとつの依頼に寄り添いながら、より良い援助の橋渡しができるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



茶話会のご報告

令和5年2月20日(月) 10:00~12:00

於:市役所会議室203

6名の協力会員の方にご参加いただき、普段の援助活動の様子や協力会員としての思いをお話しいただきました。利用会員の状況や援助児の気持ちに精一杯寄り添いながら一生懸命取り組んでくださっている協力会員の皆さまの心情が伝わり、アドバイザー一同感謝の気持ちでいっぱいになりました。

～お話の中から～

- ★ 乳児の預かりでは、援助のたびに成長・変化が早く毎回驚きます。家族みんなで次の援助日を楽しみにしています。
- ★ 我が子と同年代のお子さんを援助すると我が子の成長も感じることもあり、相互に良い影響があるのだなぁと思います。
- ★ 継続的な援助が1つ終わりました。その時ときには大変なこともありましたが、終了してしまうと心にポッカリ穴があいたような気分でさみしいです。支えているつもりが支えられていたんだなぁと思います。

その他、講習会のあり方や報酬に関する事、協力会員獲得について等、具体的なお話をたくさんいただきました。“現役”“現場サイド”である皆さまからのご意見はとても貴重であり、今後のより良い援助活動に繋がられるよう努めたいと思います。

大変有意義な茶話会になりました。ありがとうございました。

今年度も残りわずかとなりました。

会員の皆さまには、ファミリー・サポート・センター事業へのご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

令和5年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

令和5年2月20日現在
会員数

利用会員	1,323名
協力会員	324名
両方会員	111名
合計	1,758名

ていーるーむ VOL.62



会員の方からいただいた体験談や
育児奮闘記などをご紹介します。

～ファミサポさんを利用して～

今回私の資格取得の研修が、毎月1回土曜日に定期的で開催されることになり、ファミサポさんをお願いすることにしました。息子がダウン症というのもあり、アドバイザーさんが非常に丁寧に聞き取りをしてくださり、預かってくださる方を探してくださいました。結果は大正解です！

毎回丁寧なご報告をいただき、先方宅でいかに丁寧に息子のことを見てくださっているのかが手に取るようにわかります。家ではわがままいっぱいの子もよそ行きの顔(?)をしていて、違う様子がわかりとても嬉しいです。本人もこのお宅が大好きで、預ける当日ファミサポさんのお宅に行くことを説明すると、「ハイハイ！ここ好き！行きます！行きます！さぁ行こう！」とパジャマのまますたすたと玄関へ。私たち夫婦も本人も大好きなお宅です！



利用会員



～ファミサポでの出会いは宝物～

ファミリー・サポート・センター(以下ファミサポ)の協力会員として活動を始めたのは約10年前になります。

当時は、2人の息子が幼稚園年中と小学校低学年だったのですが、私自身、異国での出産や両親と離れての子育てで多くの方に助けられ、安心して子育てができていたことをありがたく感じていたので、私も地域の方たちのお役に立つことができたら、という思いで始めました。

「自分の子がいるのに、他の子を預かるなんて大変そう」と思われることもありますが、大変というよりも、自分と家族にプラスになることの方が多いたが事実です。

お子さんと触れ合うと、私の心が癒され穏やかな気持ちになります。ママと離れて頑張っている子の姿は本当に愛おしいものです。それは息子たちも同じだったようで、家で預かる子たちにはいつも優しく接してくれて、私がお世話で忙しくしていると息子が家事を手伝ってくれることも！我が家に優しく温かい時間が流れるのです。

現在は、3組の男の子の送迎を楽しませていただいています。息子たちは大きくなり一緒にサポートすることは殆どありませんが、サポート中の子のことや出来事を私が話したり、過去にお預かりしていた子のことを家族で思い出し、「〇〇君、何年生になったかな？」「まだ車好きかな？」などと話題になることもあります。

「我が家の歴史はファミサポなしでは語れない」と言っても過言ではないくらい！

ファミサポでの出会いは私たち家族の宝物となっています。



協力会員

私は昨年4月から協力会員をしているシニアです。ファミサポのことを知ったのは新年の新座広報誌でした。ちょうど介護系施設を定年するタイミングだったこともあり応募することにしました。高齢の方ばかりでなく子どもにも興味をもったからです。

はじめてみると、子どもの相手は想像以上に大変でした。夕方、小学生2人を学童保育からご自宅へ送り届けるのですが、2人は面白がって墓場に入ったり、トラックが通るすぐ脇を突っ走ったり、散歩中の犬に抱きついたり…。

ある時、ハトハトで帰ってくる姿をご家族が見ており、お子さん達を注意してくれました。ご家族とは数回メールでもやり取りしました。幸いその後、嘘のように子どもは穏やかになっていました。ご家族がちゃんと話をしてくれたのだと思います。

その子が先日、私が車にひかれそうと思ったのか、「危ないよ」と安全な方へ引っ張ってくれました。しみじみと嬉しかったです。



協力会員



私が職場復帰する際にお願いしはじめたのが、息子が3歳2か月のとき。保育時間に制限があった息子ですが、すぐに慣れて、何よりもうれしそうな息子の姿を見ると安心して利用できました。最初は1年間の利用でした。

そして息子の保育園転園にともない、5歳3か月で再び新しいファミリー・サポートさんに出会い利用させてもらっています。障がいのある息子を理解し、寄り添ってもらえています。

毎日目まぐるしく送る日々の中で、私にとっての仕事は息抜きにもなり、生活をするうえで欠かせません。仕事をしながらの子育ては大変です。障がいのある息子の子育ては何倍も大変です。

そんな私たちを支えてくださっています。今でも、これからも、生活の中で欠かせない存在のファミリー・サポートさん。いつもありがとうございます。



利用会員



私がファミサポの協力会員を始めようと思ったきっかけは、2人の娘たちが中高生になり時間に余裕ができたことと、小さい子ども達と触れ合いたいと思ったからです。

初めての依頼から10か月が経ちました。今は継続的に2人のお子さんの習い事への送迎をしています。車に乗せて十数分ですが、毎週お話しするのがとても楽しいです。1人のお子さんは当時入学したばかりでしたので、この10か月間の成長をみることができ嬉しく思います。

最近では、まだしっかりと座ることもできない赤ちゃんのお預かりの依頼を受けました。2人の娘たちも在宅の時間でしたので、3人で話しかけたり抱っこを取り合いをしたり、あっという間の幸せな時間でした。

私が子育てをしていた時は、近くに娘たちを預けられる家族や友人がいたので、リフレッシュも含め自由な時間を持つことができました。そうではないお母さん達のために、これからも役に立てれば幸いです。



協力会員

原稿をお寄せいただいた会員の皆さま、ご協力ありがとうございました。